

玉名市、都城市、霧島市視察報告書

会派「結ゆう SHIROI」

日 時 : 平成 25 年 5 月 7 日～9 日
視 察 先 : 熊本県玉名市、宮崎県都城市、鹿児島県霧島市
視察目的 : 熊本県玉名市 玉名 21 の星事業について
宮崎県都城市 乗合タクシー「あじさい」について
鹿児島県霧島市 介護保険ボランティアポイント制度について

1、玉名市 玉名 21 の星事業

合併前の旧玉名市が行った地域づくり運動「一区一輝運動」を継続・発展させるもので、市内の 21 の小学校区をコミュニティの単位として、住民主体の地域づくりに取り組んでもらい、コミュニティの自治、自立と活性化を促進しようというもの。

事業の仕組み

小学校区を単位として各校区に「まちづくり委員会」を組織、校区の特色を生かした地域づくりの事業を計画し、地域が一体となってこれに取り組んでいる。

市は、企画経営課地域振興係および各支所市民生活課を窓口助成金を交付するとともに、関係課と連携して様々なサポートを行っている。

事業の期間は、平成 18 年度から平成 25 年度までの 8 年間で、岱明・横島・天水自治区においては、「まちづくり計画」、「まちづくり事業」および「まちづくり活動」に取り組み、玉名自治区においては、合併前に「まちづくり計画」および「まちづくり事業」を終えているため、「まちづくり活動」に取り組んでいるという。



【事業内容】

まちづくり事業

- ・コミュニティの自治・自立のための事業。
- ・校区の資源や特性を生かした創意と工夫による地域づくり事業。
- ・地域環境の改善、防犯・防災、地域の互助等の事業。

まちづくり活動

- ・「まちづくり事業」で取り組んだ事業を継続・発展させる活動
- ・区民の利益に繋がると考えられる活動であり、かつ非営利の活動

【助成額】

「まちづくり計画」・・・各校区 50 万円を限度として助成。

「まちづくり事業」・・・各校区 500 万円を限度として助成。

「まちづくり活動」・・・費用の 5 分の 4 以内とし、30 万円を限度として助成。

2、都城市の乗合タクシー「あじさい」

市民の日常生活を支援するため、予約型乗合タクシーの運行を本年1月4日から開始している。「あじさい」の愛称で買い物をしたり病院を受診したりするときの移動手段として活用している。

ジャンボタクシーで山之口町の中心部とその周辺地域を結ぶ路線を運行し、事前に予約することにより1回200円（未就学児無料）で利用できる。

町内を北部、南部、東部の3地域に分け、各地域から町の中心部に乗り入れている。乗降場所はそれぞれ、14箇所、12箇所、10箇所と多数設定し、鉄道やバスの乗継にも利用できる。

予約は電話で1時間前まで可能で、利用する日時と、乗降場所を伝え、1便につき8名まで利用できる。



利用方法


電話で予約します

1 お名前、利用する日、利用する時刻、乗る場所、降りる場所をお伝えください。

電話番号

57-2100

38-1300



「あじさい」運行業者の銀星タクシーにつながります。

【受付時間／24時間】

※ 予約は各便の1時間前までをお願いします。

※ 各便8名まで予約可能です。

2 指定の時刻に乗車場所へ

「あじさい」が、予約の場所に迎えに行きます。その他のご予約の方も同乗させ、目的地に向かいます。料金200円（未就学児無料）は、お降りの際に運転手にお支払いください。

3、霧島市 介護保険ボランティア・ポイント制度

霧島市在住の65歳以上の方（介護保険の第1号被保険者）がボランティア活動を通じて、自身の健康増進と介護予防を図り、いきいきとした地域社会づくりを推進することを目的とした制度。

高齢化率が21%を超えた社会のことを「超高齢社会」と言い、平成6年に日本は超高齢社会を迎えているが、霧島市でも、65歳以上の人口が全体の21・97%を占め、「超高齢社会」になっている。今後は、高齢者が社会とどのように関わっていくかがまちの活性化の鍵になると考え、「介護保険ボランティア・ポイント制度」を始めましたという。

この制度は、市の実施するボランティア研修を受けた高齢者にボランティア手帳を配布し、ボランティア活動をするとその手帳にポイントがたまる仕組みで、翌年の介護保険料の軽減や、市内協賛店舗で割引などの優遇を受けることができる。市内には、すでに約100か所のボランティア受け入れ施設があり、これまでボランティア活動をしたくても何をしたらいいのか分からず、行動に移せなかったかたにも参加しやすくなり、現在270人のかたが登録している。

世代を超えた交流今回のような高齢者のボランティア活動を応援する制度があるのは、県内では霧島市だけだが、同じような制度を導入している他県の自治体では、ボランティア活動の場は介護福祉施設などがほとんどで、霧島市ではそれに加えて、全国で初めて保育園などの子育て関係にまで枠を広げた。これは、ボランティア活動を通じて高齢者と子ども、そして子どもを持つ親との世代間交流の場を増やし、いきいきとした地域社会をつくるのが目的だとのこと。



白井市においても、高齢者のボランティア活動を支援し、元気で活力あるまちづくりを目指すべきと考える。

○視察参加者 岩田典之、幸正純治、天下井恵、影山廣輔

以上

※ 政務調査費に当てた費用 : 67,677 円

		備 考	
交 通 費	電 車 賃	2,940	鎌ヶ谷大仏⇄羽田空港駅
〃	航空運賃(JAL先得割引)	17,170	羽田空港⇒熊本空港
〃	航空運賃(JAL先得割引)	16,970	鹿児島空港⇒羽田空港
宿 泊 費	5 月 7 日	8,000	ベッセルホテル都城
宿 泊 費	5 月 8 日	8,240	健康保養センター薩摩明治村
小 計(A)		53,320	
交 通 費	レンタカー	29,500	トヨタレンタリース
	ガソリン代	5,178	南国殖産
	高速料金	950	熊本空港⇒菊水
	〃	4,200	菊水⇒都城
食 卓 料	5 月 7 日夕食	10,000	なかむら
その他	視察先手土産	7,600	そろばん博物館
小 計(B)		57,428	÷ 4=14,357
合 計(A+B)		67,677	